

これまで・最近・これから

一般社団法人 日本トイレ協会
会長 高橋 志保彦



日本トイレ協会の会長を拝命して4年目の中頃になりました。各総会において承認された活動予定（計画）を実行し、翌年の総会で活動報告をしてまいりました。「トイレ文化研究会の立ち上げ」、「会員名簿作り」、「4部会の構成（総務、企画・運営）、広報・渉外、事業 各部会）」、「会員増強」、「書籍づくり（トイレ学大事典の発刊）」、「創立30周年記念事業」、「一般社団法人化」、「HPの充足」、「グッドトイレ推進運動」、「他団体（行政、民間団体、大学等）との協力」、「活動を積極的に社会へ発信（各種メディア及びHP対応）」、「防災・災害時用トイレ対策」、「国際交流（台湾トイレ協会との交流）等々です。全国トイレシンポジウムも自治体や大学、他団体との共催を図り、トイレに

関わる諸問題をつまびらかにし、検討を重ね、環境改善を提言して参りました。毎年盛り上がりを見せ、社会的評価も高まってきていることは言うまでもありません。

諸問題を、任意団体時では理事会で諮り、現法人では理事会・運営委員会に諮ってことを進め、各委員とともに事務局長のご理解とご尽力、及び全会員の皆様のご協力のもと、着実に実行し、成果を上げてまいりました。

◆現在進行中の主な活動は、

・「グッドトイレ推進運動（リーダー；山本副会長）」で、インバウンド観光客の入込数増加や2020年のTOKYOオリンピック・パラリンピックを見据えたトイレ設置者・管理者の自発的な「おもてなしトイレ」の環境整備を促進し、その効果を期待する運動です。ミシュランの飲食店、ホテル、行楽地への格付けのようではありながら、それとは違う、各自が自己評価をし、「グッドトイレ」であると設定・提示するいわば「自己責任型格付け提示」の試みであり、ユニークな運動で、現在検討中です。

・「防災・災害用トイレ対策」は喫緊の課題です、経産省との協力を、新妻・谷本両運営委員他が中心で積極的に行っています。今後30年間で「南海トラフ地震」と「首都直下地震」が70%の確率で発生すると喧伝されている中、国民がどのくらい、防災・災害時用トイレ（簡易トイレや携帯トイレ）を備蓄しているか、どこの行政機関も最近の状況を把握していない状態です。せいぜい2年前（2014年）の東京都調査で17.6%というデータがあるのみです。今、トイレ文化研究会の中に「防災・災害用トイレ特別研究会」を立ち上げ、人々がどのくらい備蓄をしているか、また、トイレの備蓄にどのくらい関心があるかアンケート調査をしようと計画中です。貴重なデータが得られるものと期待しています。そして、できれば継続的に調査

しトレンドも把握したいと思っています。

・「ホームページ」も、金子運営委員の卓越した IT 技術により、すべての人がアクセスしやすいよう刷新を図っていて、いまコンテンツの充足を図っているところです。アクセス数も日増しに増えています。会員の皆様も一度はアクセスしてみてください。今後は世界に向けて発信できるよう英語の堪能な会員に参加してもらい「英語版」を設ける計画を立てています。

◆これからの構想は、

国際的活動です。その昔、日本トイレ協会発足に端を発し、各国にトイレ協会が生まれました。ところがお隣の国のトイレ協会は「世界トイレ協会 World Toilet Association」を作り、南方の国の協会は「世界トイレ機構 World Toilet Organization」を立ち上げました。前者では政治家が「私がお会長の会長になる」と言って立ち上げ、後者では「俺たちは英語ができるから世界の発信基地になる」と言いながらもその組織の Founder であると公言しています。それぞれに活動することは結構ですが、それぞれが「我が旗のもとに」というのは控えるべきだと言いつけてきました。トイレに関しては、それぞれの民族や国で、文化があり、宗教も違い、習慣、技術力、経済力が違います。お互いの環境を尊重しながら、同格でフラットな関係で結びつく、即ち Network を構成し情報交換をしながら、着実にその国の環境ひいては地球環境の改善と人類の福祉につなげていくことが本来の目的であると考えます。そのため INTERNATIONAL TOILET NETWORK (ITN) を構成しようと構想し、現在準備中です。トイレ問題をもって文化的交流を図り、ビジネスチャンスも生まれるよう期待したいと思います。是非皆様のご協力と積極的参加を期待します。

第32回全国トイレシンポジウム企画 プログラム

1. テーマ 「パブリックデザインとトイレ」

ー公共空間の多様な利用と整備におけるトイレのあり方を考えるー

2. 趣旨

清潔で安全、快適な都市のインフラとして、トイレが重要であることは論を待ちません。日本のトイレは海外からの観光客から高く評価されていますが、商業施設やホテルなどの民間施設のトイレに比べて、公共スペースに設置されている公共トイレについてはまだまだ改善の余地があります。

公共トイレは都市のパブリックスペースの重要なエレメントのひとつであり、日常の生活空間として、あるいは街の賑わい創出の空間として活用するためには不可欠な施設です。さらに災害時の避難所や活動拠点となるところでは、緊急時に対応した備えが必要となります。

パブリックデザインとは「美しく、使いやすく、居心地の良い、安全で豊かな公共空間を実現すること」であり、このような視点から公共トイレのあり方をあらためて考えてみたいと思います。

なお本シンポジウムは、専門家のみならず広く一般の方々に、日本のトイレの現状と課題について理解を深めるとともに、よりよいトイレ環境づくりを考えていく機会とすることを目的としておりますので、トイレに関心のある方はどなたでも自由に参加できる会です。

3. 開催概要

- 期日 平成 28 年 11 月 12 日 (土)
- 会場 日本大学理工学部 1 号館 131 教室

〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14

JR中央・総武線「御茶ノ水」駅 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 下車徒歩3分
東京メトロ丸の内線「御茶ノ水」駅 下車徒歩5分

○参加費 無料（ただし、資料代実費：2000円、交流会会費：4000円）

○主催 一般社団法人日本トイレ協会

共催 一般社団法人パブリックデザインコンソーシアム

○後援（申請中含む、順不同）

経済産業省、国土交通省、観光庁、東京都、日本科学未来館、（一社）日本建築学会、
（公社）日本建築家協会、（一社）日本医療福祉設備協会、都市環境デザイン会議、（一社）日本医療福祉建築協会、（公社）国際観光施設協会、（一財）自然公園財団、（一社）日本福祉のまちづくり学会
NPO 法人地域交流センター、NPO 給排水設備研究会、全国管工事業協同組合連合会、（一社）日本能率協会
全国まちなちの駅連絡協議会

○協賛（順不同）

TOTO株式会社、株式会社LIXIL、（一社）日本レストルーム工業会、中日本ハイウェイ・メンテナンス東名株式会社、日野興業株式会社、株式会社総合サービス、日本カルミック株式会社、株式会社アメニティ、株式会社井戸屋、湘南ステーションビル株式会社、櫻木神社、株式会社オーイケ、株式会社シミズオクト、YAMATO-NB株式会社、トーションファシリティーズ株式会社

第32回全国トイレシンポジウムの参加申し込み・問い合わせは！

■ 申込専用サイト http://www.dynax-eco.com/toilet_symposium/2016/

■ Tel 03-3580-8284 Fax 03-3580-8265 e-mail sympo@toilet-kyoukai.jp

<全国トイレシンポジウム事務局>

■ (株)ダイナックス都市環境研究所内 〒105-0003 東京都港区西新橋 2-11-5 TKK 西新橋ビル

担当 石垣 山本

4. プログラム

総合司会 山本耕平<(一社)日本トイレ協会副会長>

【午前の部】

9:50 開会／挨拶：高橋志保彦 (一社)日本トイレ協会会長

10:00-10:40

●基調講演 「パブリックデザインと公共トイレ」

講師：天野光一 日本大学理工学部教授

プロフィール：開成高校—東京大学工学部土木工学科—同大学院工学系研究科土木工学専攻修士課程。建設省土木研究所道路部研究員、フランス都市・交通・住宅省都市交通研究所研究員、建設省道路局企画課課長補佐、東京工業大学工学部助手、日本大学理工学部専任講師、同助教授、東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻助教授、フィリピン大学客員教授（JICA 専門家）を経て2001年より現職。一般社団法人パブリックデザインコンソーシアム理事長

10:40-11:30

●特別講演 「東方見便録ートイレ文化から見たアジアとニッポン」

講師：斉藤政喜氏（紀行作家）

プロフィール：『シェルパ斎藤』のペンネームでアウトドア雑誌等に連載をもつ紀行作家。95年に八ヶ岳麓に移住し、自ら家をつくり、火を中心とした田舎暮らしを楽しむ。トレイルと名のつく日本のルートをもっと多く歩いているバックパッカーであり、年に1度は海外のロングトレイルも歩いている。バックパッキング以外にも、自転車、オートバイ、ヒッチハイク、耕うん機による日本縦断など、自由奔放な旅を35年も継続しており、テント泊数は通算千回を超える。『東方見便録』『犬連れバックパッカー』『シェルパ斎藤の世界10大トレイル紀行』など著作は30冊を数える。

11:30-12:10

●研究発表・プレゼンテーションセッション（3題）

進行 白倉正子（アントイレプランナー）

- 東リ(株) 小金丸昭洋氏 トイレ用床材の進化と課題
石丸忠男 トイレが変わる、トイレ文化を育てる空間づくり
菅野哲男 「気持ち良〜く、キレイに」サブタイトル「お尻洗浄の一考察」

12:10-12:30

●「グッドトイレ選奨」応募作品のプレゼンテーション

進行 村上八千世（アクトウェア研究所）

応募作品(順不同) 10月20日現在

- | | |
|---|-------------|
| 1 「美は美を守り美をつくる」トイレでおもてなし | 片男波自治会 8の字会 |
| 2 高速道路における多機能トイレの利用実態調査 | 軍記伸一 伊藤佑治 |
| 3 外国人観光客(インバウンド)のトイレ対策 | 白倉正子 |
| 4 トイレの利用状況の予測に寄与する空間評価システムの開発 | 伊藤佑治 山本浩司 |
| 5 福祉・災害・建設現場が期待する次世代トイレ | 入澤徹 |
| 6 海老名SA(下り線)におけるトイレ混雑緩和対策 | 岩佐育恵 白石英司 |
| 7 NEXT DOOR Project | 中村治之 藤谷奈緒子 |
| 8 小学生男子が「学校でウンチに行けない問題」に取り組む
世界初バンド!「サトミツ&ザ・トイレッツ」 | 山戸伸孝 |
| 9 YKK 80ビル<オフィスビル> | (株)日建設計 |
| 10 自動開閉式サニターボックスで「女性が喜ぶ快適トイレ」サポート | (株)トーカイ |
| 11 乳幼児連れに配慮したトイレ | 高橋未樹子 |
| 12 世界一綺麗なトイレを目指して | 井上舞華 |
| 13 清掃の工夫 | 井上舞華 |
| 14 携帯トイレ「ほっ!トイレを用いたモンゴル・富士山・乗鞍での実証報告 | 足立寛一 |
| 15 首都圏中央道路自動車道 菖蒲PAの紹介 | ネクスコ東日本東京支社 |
| 16 松原保育園乳児用トイレ | 松原保育園 |
| 17 病院長が提案する「臭わない男子小便器トイレ」 | 野尻真 |

12:30-13:30 昼食・休憩

【午後の部】

13:30-15:30

●セッション：パブリックデザインとトイレ

ーパブリックスペースの積極的な活用とトイレのあり方

コーディネーター：高橋志保彦氏（都市デザイナー、（一社）日本トイレ協会会長）

報告と討論（各 10～15 分）

- ①グッドトイレ 10・グッドトイレ選奨から見る公共トイレ改革の歩み
浅井佐知子氏（設計事務所ゴンドラ）
- ②奥多摩町の取り組み
山宮 淳也氏（東京都奥多摩町観光産業課観光商工係長）
- ③千代田区の取り組み
千賀 行氏（東京都千代田区道路公園課長）
- ④2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けて東京のパブリックデザインとトイレ
※調整中（パブリックデザインコンソーシアムから登壇者依頼）

15:30-15:50 休憩

15:50-17:40

●特別セッション：災害とトイレ再考ー熊本地震を振り返って

コーディネーター：坂本菜子氏（コンフォースタ일리スト、＜一社＞日本トイレ協会副会長）

報告と討論（各 10～15 分）

- ①熊本地震のトイレ支援について
新妻普宣氏（(株)総合サービス代表取締役）
- ②仮設トイレのあり方 谷本亘氏（日野興業(株)営業企画部部長）
- ③車載トイレの可能性 八木正志氏（優成サービス(株)代表取締役）
- ④防災インフラとしてのマンホールトイレについて 山縣弘樹氏（国土交通省下水道部）

17:40-17:50

●総括、閉会 小林純子＜（一社）日本トイレ協会副会長＞

【交流懇親会】

18:00-19:30

1号館食堂

※グッドトイレ選奨の入選作発表

5. 関連イベント ・グッドトイレ選奨（会場内でのパネル展示と投票）

■ 会場アクセス図

シンポジウム会場
日本大学理工学部 1号館 131教室



一般社団法人 日本トイレ協会 ホームページをリニューアル

運営委員 金子 健二 <NPO 法人 Check 代表理事>

こんにちは、運営委員の金子健二です。本業はNPO 法人 Check の代表をしており、広報・PR のコンサル事業や多機能トイレ情報共有サービス「Check A Toilet (<http://www.checkatoilet.com>)」の運営をしております。この情報サービスは、日本全国の多機能トイレ情報約6万ヶ所の情報がPC・スマートフォン・携帯電話などから検索・情報共有ができる機能を搭載しております。

この度、2016年9月上旬から一般社団法人日本トイレ協会のホームページをリニューアルしましたので、どのような機能が搭載されたか、どんなことができるのか、などを解説させていただきます。

【新機能】

1、トイレギャラリー（無料・一部有料サービス）

日本トイレ協会の会員（個人／法人）が「画像&動画」を投稿・公開できるサービスです。「画像&動画」は日常のトイレに関する活動や新商品など、告知したい内容であれば、何でもかまいません。多くのトイレファンやマスメディア関係者が閲覧するコーナーなので、際立った「画像&動画」を投稿しておけば、取材が入る可能性も十分にありえます！

※2017年1月からは、会員の種別により、投稿できる回数制限を設ける予定です。

The screenshot shows the homepage of the Japan Toilet Association (JTA). At the top left is the JTA logo and name. A search bar and social media icons (Facebook, Twitter, Google+) are on the right. A navigation menu includes Home, Association Information, Activities, Membership, World News, Press Center, Contact Us, and FAQ. The main banner is a red puzzle graphic with white text: "第32回 全国トイレシンポジウム 11/12 (土) 10:00 - 18:00 @御茶ノ水" and "参加費 無料". Below the banner are two columns: "トイレギャラリー (ネタ・新商品・研究会・歴史 etc)" and "募集事項". At the bottom, there is a promotional banner for "トイレ・バス・キッチン空間フェア2016" by Satsumi & Za Toilets, with details for the symposium: "第32回 全国トイレシンポジウム2016" on "11/12 10:00 - 18:00" at "日本大学理工学部1号館131教室".

〔告知内容〕

- 1、ジャンル：(ネタ or 告知 or 研究発表 or 新商品発表)
- 2、タイトル：(30 文字まで)
- 3、会員種別：(個人会員 or 法人会員)
- 4、掲載名：
- 5、画像：(1枚 5MB まで) or 動画(10分以内 100MB まで)
- 6、説明：(100 文字まで)
- 7、URL：

*著作権が発生する「新聞記事」「映像」「商品」はNGです。

*画像・動画の送り先はこちら「 jta-contact@toilet-kyoukai.jp 」

【掲載事例】

- 1、ジャンル：新商品発表
- 2、タイトル：トイレ学大辞典
- 3、会員種別：法人会員
- 4、掲載名：一般社団法人日本トイレ協会
- 5、画像：
- 6、説明：トイレ学大辞典、Amazon で絶賛販売中！
- 7、URL：<http://goo.gl/yirMxG>

- 2、スライドショー (有料サービス)

トイレギャラリーだけでは物足りない、より活動・新商品をPRしたい会員向けに日本トイレ協会 ホームページの一番目立つスポットに告知内容を掲載します。2週間から掲載できますので、料金に関しては事務局へお問い合わせください。

- 3、マスメディア 200 名へ情報配信サービス (有料サービス)



日本トイレ協会

30年の軌跡

報道関係者向け ニュースリリース
最新情報をお届けします。

メールアドレス

今すぐ購読

フロア

ホームページのトップページとプレスセンターページに「報道関係者向けニュースリリース」というコーナーを設けました。これは今まで協会が取材を受けたメディア関係者に加えて、トイレに関心があるマスメディア関係者の連絡先をリスト化していく新しい試みです。リスト化していくことでできることは、トイレギャラリー・スライドショーのように、ホームページに辿り着いたターゲット層ではなく、ピンポイントにトイレに関心のある「新聞記者・TVディレクター・TV制作会社など約200名」に直接メールをお届けすることができます。

有料サービス（料金はお問い合わせください。）ですが、活動や新商品などを取材してもらい、よりPRしたい方にはオススメです。

マスメディア向けの文章作成から、行いますので、興味のある方は事務局まで。

4、ワールドニュース（無料サービス）

全世界のトイレニュース「The Toilet Daily」コーナーを設けました。「レジャー、環境、スポーツ、テクノロジー・ITなど」のトイレの話題が毎日、更新されます。全て英語表記ですが、世界のトイレ事情を探るのにオススメです！

The screenshot shows the website's layout. At the top, there's a navigation bar with the 'jta' logo and the text '一般社団法人 日本トイレ協会'. To the right is a search bar and social media icons for Facebook, Twitter, and Google+. Below this is a secondary navigation menu with items like 'ホーム', '団体情報', '活動内容', '会員制度', 'ワールドニュース' (which is highlighted), 'プレスセンター', 'お問い合わせ', and 'FAQ'. The main heading is 'The Toilet Daily'. Underneath is a sub-menu with categories: 'ヘッドライン', 'レジャー', '環境', 'スポーツ', 'テクノロジー・IT', '#SWACHHBHARAT', '#PEOPLE', and 'もっと見る'. Below the sub-menu, there's a date and time indicator: '2016年10月06日 木曜 | 最新版の発行準備完了まであと 大体一時間 後 | アーカイブ'. The main content area features two news snippets. The first is 'A Pirate's Life For Me - Houseboat! - Boats for Rent in Charleston' by Regan Reid, with a photo of a houseboat interior and a description: 'airbnb.com - Very spacious houseboat with vaulted 12' ceiling in the main cabin (living room). Sleeps 3'. The second is 'NYC turns to recycled toilets to revive its once-thriving oyster population' by Eric Breer, with a photo of a pile of recycled toilets. To the right of these snippets is a newsletter sign-up box with the text '新聞更新のお知らせメールを受信する', a text input field for an email address, and a '購読する' button.

1、会社概要

会社名 YAMATO-NB 株式会社 ヤマトエヌビー(カ)
 所在地 〒599-8114 大阪府堺市東区日置荘西町7丁6-10
 TEL 072-289-6948 FAX 072-289-6958
 ホームページ <http://www.yamato-nb.com/>
 設立 平成22年4月
 資本金 2,000万円

2、経営方針

常識を変える！

弊社 YAMATO-NB 株式会社は、ソフトウェア開発で培った“システム的な考え方”をもとにより便利で安心な、さらに豊かな生活を実現する商品を開発・提案しております。

弊社の特徴はひと味違った角度・視点から物事をとらえ「あたりまえだから」「習慣だから」ですませてきた不便さ不具合などの問題点を解決していくことにあります。そのために既存の概念にとらわれずに、柔軟な発想による斬新なアイデアを生み出しています。

3、主な商品のご紹介

- ・「収納いす」：通常は椅子として使用でき、多機能防災缶「リュックサックゆうペー 安心セット」を入れておけば非常時にはすぐに持ち出せ安心、安全です。

- ・「リュックサック付ゆうペー」：通常は椅子としても使用でき、非常時には自宅から避難所へ、会社から自宅へと非常品・必需品（食料、保存水など）を入れて避難することができます。



- ・「ヒノキパック」：断水のととき常設トイレ及び簡易トイレが使用できます。自然のヒノキの粉末で汚物をガッツリ包み、綺麗で、無数の雑菌の散乱を防ぐ衛生的な商品です。

「ヒノキパック」は半永久保存が出来、定期的に交換は不要です。



4、社会貢献

新潟中越沖地震や東日本大震災および熊本・大分地震など、近年発生した地震による被災地へ、被災された方々の少しでもお役に立てることを願い、簡易洋式トイレ「ゆうペー」、携帯トイレ「ヒノキパック」と第3の食器「ゆう箸」を寄贈し、義援金を寄付させていただきました。弊社は今後も社会の一員として、社会貢献に努めたいと思っております。

今年度より、日本トイレ協会法人会員として入会いたしました株式会社サンコーです。どうぞよろしくお願ひ致します。簡単にですが、弊社の概要や商品についてご紹介させていただきます。

1. 会社概要

会社名	株式会社サンコー
本社所在地	和歌山県海南市大野中 715
代表者	代表取締役社長 角谷太基
設立	1967年4月1日
従業員数	100人
資本金	9,500万円
事業内容	生活用品・家庭用品の開発、製造、販売



お客様のニーズを考え、暮らし・環境・技術・素材・国産にこだわり
いつも新しい商品づくりに取り組んでいます。

2. 事業方針

株式会社サンコーは「生活者に喜んでもらうこと」「挑戦すること」「想いを伝え続けること」を大切にしています。商品づくりのモットーは「質にこだわる」。お客様の生の声「ボイスカード」からニーズを読み取り、サンプルを作り、モニター評価を得て、改良し、商品化されます。購入し使っていたお客様の声をいただき、さらに改良し、商品化していく。こうしてブラッシュアップを重ねることで、より機能的で使いやすい商品が生まれ、お客様に喜んでいただけるのです。このサイクルが私達の商品づくりに欠かせません。これ以上は無理だ、ではなく何とかできないかと考える。ひとりで考えず上司、仲間、パートナー企業とともに考え抜くこと。これが開発メーカーである私達の仕事です。利益を上げることが目的ではなく、喜んでもらえること。感謝の心は、結果として何らかのカタチになっていくものだと考えております。

3. 商品紹介

「びっくりトイレクリーナーケース付」

便器のフチや奥までもぴったりフィットして洗えるトイレクリーナーです。クリーナー部分の毛は、1993年に独自開発した「びっくりフレッシュ®」(※1)という特殊繊維で作られており、水だけで汚れを落とすことができます。毛が柔らかいので、表面をコーティングした便器も傷つけないです。また、嫌な水はねもありません。収納簡単なケース付で、



水滴が垂れることなく、水捨ても簡単にできます。ゴシゴシと便器を洗っても傷がつかないので、安心してお使いいただけます。今後とも日本トイレ協会様との情報交換を行い、お客様に喜んでいただけるトイレ関連の商品づくりを行って参りますので、ご指導よろしくお願ひいたします。



(営業統括本部広報担当 畠山夏実)

この度、個人会員から法人会員へ登録変更をさせて頂きました(株)レイトの代表取締役 船橋寿道と申します。

年1回総会の時しか参加出来ておりませんが、広島から来ていると云うだけで皆様から喜んで声をかけて頂き大変嬉しく思っております。普段は大声で話せないトイレの話も、この会だけはトイレの話で盛り上がる事が出来るのも、皆様に会えることも年に一度の楽しみでもあります。

そんな私とトイレの関わりは、22歳の時に下水道工事の会社に入ったことがきっかけとなります。当時ね広島市は政令指定都市のなかで最も下水道普及率が低く、汲み取りトイレが多くあり広島市の方針が水道普及に力を入れていた時期でもあり、水洗化工事で忙しい毎日でした。

それから年月を経て私も起業の道を選びました。会社の名前を決めるにあたって真っ先に頭に浮かんだのが、やはり「トイレ」でした。トイレと云う社名はあまりにも率直すぎるので、反対から呼んで「レイト」としました。

この社名には、今の私があるのもトイレに関わって来たお蔭である感謝の気持ちもありました。そして何かこの仕事に対して恩返しのような気持ちで業界発展に協力することの出来ることはないかと考えていた矢先に、テレビ番組で「日本トイレ協会」が採り上げていたのを見て、すぐ次の日に入会の手続きを行いました。

早いもので、入会して5年も経ち未だ何も協力出来ないでおりますが、遠い広島に居ても気持ちは協会の一員であります。皆様の精力的な活動が協会ニュースを通じて報ぜられ本当に嬉しい限りです。

その私が、せめて協力出来る方法の一つとして法人会員への登録ではないかと思い、この度の法人会員への登録を決断いたしました。

また来年も総会には参加させて頂くつもりです。いつも緊張しているので声をかけて頂ければ嬉しいので、気楽に声をかけてください。年に一度の上京で一人でも多くの方々と交流出来れば幸いです。今後ともどうぞよろしく願いいたします。 (代表取締役社長 船橋 寿道)



広島市フラワーフェスティバルに出展した「便器でメリーゴーランド」

第2回 経済産業省「トイレトペーパー及び 災害用トイレ備蓄推進に関する商品・パネル展示」報告

防災・災害用トイレ特別研究会 足立 寛一 <㈱エクセリシア 代表取締役>

1 はじめに

昨年、経済産業省本館で行われた『携帯トイレ・簡易トイレの備蓄推進に関するパネル展示』（平成27年8月31日(月)～9月4日(金)）に引き続き、本年も経済産業省本館にて『第2回 経済産業省「トイレトペーパー及び災害用トイレ備蓄推進に関する商品・パネル展示」』（以下「災害用トイレ備蓄推進の展示」）平成28年8月29日(月)～9月2日(金)が行われました。本協会からは4社が出展を致しました。本稿では、その内容をご報告いたします。

2 開催概要の背景(プッシュ型支援について)

本協会と経済産業省は、南海トラフ地震、首都圏直下地震における「災害用トイレ物資調達リスト整備」を契機に、これまでその他にも様々な事業・行事の連携・協力を行ってきました。昨年3月30日には、中央防災会議幹事会より『南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画』では、初めてプッシュ型支援が発表されました。プッシュ型支援とは発災後の一週間の1日目～3日目は自助、共助の備蓄品で凌いでもらい、4日目から7日目の簡易トイレ・携帯トイレ、飲料水、食料、毛布、オムツなどを被災地の自治体からの要請がなくとも被災地に支援物資として届ける政策のことです。この4日目～7日目で必要な「携帯トイレ・簡易トイレ」は約5,442万回分であると発表されました。また、本年3月29日には、同じく中央防災会議幹事会より『首都直下地震における具体的な応急対策活動に関する計画』が発表され、プッシュ型支援における4日目～7日目で必要な「携帯トイレ・簡易トイレ」は約3,150万回分であることも発表されました。しかし、課題としては、メーカーの在庫数、生産能力を調査すると必要調達数には、全く間に合わないことが判明しました。

プッシュ型支援で調達に想定される支援物資の数量

品目	南海トラフ地震	首都圏直下地震
簡易/携帯トイレ必要数	5,400万回分	3,150万回分
水	46万M ³	22万M ³
食料	7,200万食	5,300万食
毛布	600万枚	34万枚
おむつ	480万枚	416万枚

平成27年3月30日『南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画』より

平成28年3月29日『首都直下地震における具体的な応急対策活動に関する計画』より

更なる、簡易トイレ・携帯トイレの備蓄の推進を周知するために、本年2回目となる「災害用トイレ備蓄推進の展示」が行わる運びとなりました。

3「災害用トイレ備蓄推進の展示」の内容

開催期間は、平成28年8月29日(月)～9月2日(金)9:00～17:00で行われました。

展示参加企業は、本協会会員企業からは、(株)総合サービス、日野興業(株)、YAMATO-NB(株)、弊社の4社です。

開会イベントが平成28年8月29日(月)14:00～14:30 展示会場(経済産業省本館1Fロビー)で行われ、経済産業省の大臣官房佐藤田文一審議官(製造産業局)の代表御挨拶に続き、本協会の高橋会長も挨拶を行いました。

高橋会長は、挨拶の中で「仮設トイレが届くまでは時間がかかる。それまでに携帯トイレが必要であり、国民が災害用として携帯トイレを備蓄することの義務化は大切であること」を言及、「一人あたり一日5回の排便とすると3日間で15回分の携帯トイレを備蓄するのが指標である」と話されました。

また、もしも携帯トイレを使用しなければ、下記の数量の糞便が貯まってしまうことも言及された。

トイレ1回 150ml～200ml ⇒ 5回で 750ml～1000ml+α⇒1日

1ℓ～1.5ℓ ⇒ 3日 3ℓ～4.5ℓ =2ℓペットボトル 2本

開催概要

日程：平成28年8月29日(月)～9月2日(金)

会場：経済産業省本館1階(財務省側広報スペース)

主催：経済産業省 製造産業局 紙業服飾品課 (トイレットペーパー)

経済産業省製造産業局 生活製品課 住宅産業室 (携帯トイレ・簡易トイレ)

展示協力：日本家庭紙工業会、特定非営利活動法人 緊急災害備蓄推進協議会 (トイレットペーパー)

日本トイレ協会、特定非営利活動法人 日本トイレ研究所 (携帯トイレ・簡易トイレ)

展示内容：

「トイレットペーパー」

- ・日本家庭紙工業会の取組紹介パネル
- ・特定非営利活動法人 緊急災害備蓄推進協議会の取組紹介パネル
- ・備蓄用トイレットペーパーの実物 など

「携帯トイレ・簡易トイレ」

- ・携帯トイレ・簡易トイレ等の備蓄のための紹介パネル
- ・日本トイレ協会の取組紹介パネル
- ・特定非営利活動法人 日本トイレ研究所の取組紹介パネル
- ・携帯トイレ・簡易トイレ、仮設トイレの実物 など

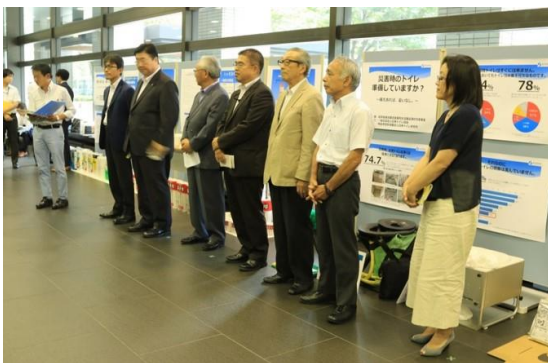


写真 1 開会イベントの様子

災害⇒ 水道・下水・電気なし⇒原始時代

災害

- ・大災害備えて1億総備蓄
- ・災害用、携帯トイレの備蓄義務
- ・人は皆1日5回トイレする
- ・3日分備蓄トイレは15袋
- ・搬送上、仮設トイレは後で来る
- ・自助・共助備えて使って後始末

トイレ1回 150ml～200ml ⇒ 5回 750ml～1000ml+α
⇒1日 1ℓ～1.5ℓ ⇒ 3日 3ℓ～4.5ℓ =2ℓペットボトル 2本

写真 2 高橋会長が挨拶で使用されたフリップ

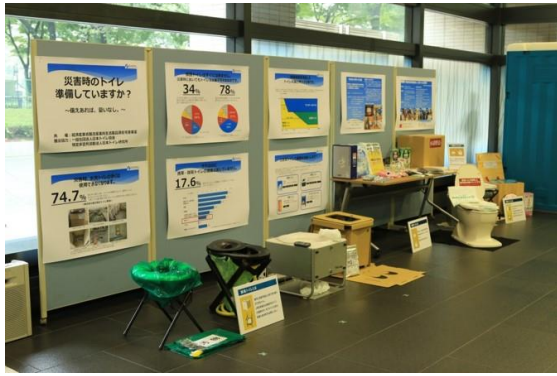


写真 3 災害用トイレ展示ブース



写真 4 簡易トイレ ①



写真 5 携帯トイレ



写真 6 簡易トイレ ②



写真 7 仮設トイレ



写真 8 トイットペーパー展示ブース



写真 9 熊本地震展示ブース



展示商品

会社名	トイレ種別	写真	備考
<p>(株)総合サービス</p>	<p>携帯トイレ</p>	<p>写真① </p> <p>写真② </p> <p>写真③ </p> <p>写真④ </p>	<p>① 携帯トイレのみ</p> <p>② 携帯トイレ (洋式便器設置)</p> <p>③ 携帯トイレ</p> <p>④ 携帯トイレ (熊本地震支援品)</p>
	<p>簡易トイレ</p>	<p>写真⑤ </p> <p>写真⑥ </p> <p>写真⑦ </p>	

<p>日野興業(株)</p>	<p>仮設トイレ ボックス型</p>	<p>写真⑧</p> 	
	<p>携帯トイレ</p>	<p>写真⑨</p> 	<p>写真⑨ 水がなくとも常設洋式 トイレが使用出来る (ヒノキパック)</p>
<p>YAMATO-TB(株)</p>		<p>写真⑩</p> <p>写真⑪</p>   <p>写真⑫</p> 	<p>写真⑩ 携帯トイレ収納</p> <p>写真⑪ 国産ヒノキ製収納椅子</p> <p>写真⑫ 携帯洋式トイレ (リュックサック付)</p>

<p>(株)エクセルシア</p>	<p>携帯トイレ</p>	<p>写真⑬</p>  <p>写真⑭</p>  <p>写真⑮</p>  <p>写真⑯</p> 	<p>写真⑬ 携帯トイレ 「ほっ！トイレ」</p> <p>写真⑭ 「ほっ！トイレ」 型紙とビニール袋で 簡易便座を作りポン チョを使用してどこ でも使用出来ます。 富士山でも配布され ています。</p> <p>写真⑮ ⑯ 「ほっ！トイレタブ レット」 断水したトイレに前 もって入れておき、 排便後はすぐに縛っ て捨てるだけ。処理 が簡単です。</p>
------------------	--------------	---	--

4 今後の課題

今後、携帯トイレの普及を図っていくことが防災対策として重要な事項となりますが、どのようにその啓蒙を行うかが課題となる。「災害用トイレ備蓄推進の展示」も来年以降継続するならば、角度を検討する必要ある。地方で行うことも一つの方法であるし、国会や議員会館で行うのも良いのではと小生は考える。今後、協会内でもご意見を頂き、経済産業省をはじめ関係団体と改善を協議していきたい。

5 おわりに

最後にこの場をお借りして高橋会長、佐竹事務局長、新妻運営委員に資料や情報の提供を頂いたことを御礼申し上げます。

運営委員会経過(2016年9月 ～ 10月)

6月より一般社団法人となり定款により、従来の理事会の役割を果たす機関として運営委員会を設置した。

■ 第2回運営委員会

日時 9月5日(月) 17時30分 ～ 20時10分

場所 ㈱レンタルのニッケン

- 議題(1) 第32回全国トイレシンポジウム準備状況報告
(2) グッドトイレ推進運動進捗状況について
(3) 法人化移行に伴うリーフレット作成について
(4) 法人化に伴うHP改訂について
(5) 経産省主催災害備蓄用品展示会報告
(6) 国際交流について
(7) トイレ・バス・キッチン空間フェア 2016 について

■ 第3回運営委員会

日時 10月3日(月) 17時30分 ～ 19時40分

場所 ㈱レンタルのニッケン

- 議題(1) 第32回全国トイレシンポジウム準備状況報告
(2) トイレ・バス・キッチン空間フェア 2016 について
(3) HP改定後の反応について
(4) NEXCO(美化ピカピカトイレのヒミツ展)

編集後記

早いもので当協会が任意団体から一般社団法人になって5ヶ月が経過しました。これに伴いホームページの全面的な改訂を実現を図りました。最大の特徴は会員参加型とし、日頃の研究成果や会員のイベントなどをHPにアップすることにより、当協会や会員の活動を広く世間に発信することが出来るようになったことです。これは社会的認知度が飛躍的に向上したことになりますし、一方それに連動して協会の社会に対する責任が加重されたことになるのではないのでしょうか。本年度に入って法人会員が増加し、各部会、研究会の活動も活発です。直近では第32回全国トイレシンポジウムも詰めの段階に入りました。巻頭の会長挨拶の内容を咀嚼し、更なる協会発展のため会員の皆様の絶大なご協力をお願いいたします。(運営委員 木内雄二)

一般社団法人 日本トイレ協会

〒112-0003

JAPAN TOILET ASSOCIATION

東京都文京区春日1-5-3 春日タウンホーム1F～A

URL:<http://www.toilet-kyoukai.jp>

Tel/Fax 03-5884-6123

e-mail:jta-jimukyoku@toilet-kyoukai.jp

